

羽生市議会議員 ～過去の清算は未来への責任～

中島なおき

無所属



市政改革 再始動!

子供に
ツケを
まわさない!



雨二モ負ケズ。



自転車の小学生とハイタッチ！
選挙期間中450キロ以上を走破。



風二モ負ケズ。



選挙中も貴重なご意見をたくさんいただきました。



松本和光市長、中川県議も
応援に駆け付けてくれました。



政策を！そして市政への想いを！
ひたすら街頭にて訴える！



自転車から降りて走る！



自分の選挙は必ず
開票所に足を運びます。

多くの人に支えられ 全力で走った7日間！



みなさんの素朴な疑問に答えます。 選挙にはどれだけお金がかかるのか？

私が副代表を務める「若手政治家養成塾」には多くの若者から選挙経費に関する問い合わせをいただきます。そんな理由から今回も選挙にかかった経費を全て公開します。

※は「中島なおきを応援する会」へお振込みいただいた浄財を活用させていただきました。

標章看板 4 枚	※24,624 円	新聞折り込み	※62,440 円
名刺	※15,000 円	公選ハガキ印刷	49,000 円
選挙カーキャリア取付	2,916 円	選挙事務所人件費	73,000 円
選挙カー看板	※36,000 円	選挙期間運動員賄い	26,353 円
車載スピーカー取付	8,000 円	供託金	300,000 円
NO.47 チラシ印刷	※198,270 円	合計	79 万 5,603 円

選挙公営一覧(公費で負担していただいたもの)

「選挙公営」とは、国または地方自治体が候補者の選挙費用の一部または全額を負担することです。候補者の個人的な財力によって選挙に不公平が生じないようにするために設けられています。



選挙ポスター	341,820 円	(1枚 1,620 円)	規定枚数211枚作成
選挙カー運転手賃金	87,500 円	(1日 12,500 円)	選挙運動期間7日分
選挙カーガソリン代	6,575 円	(46.3L使用)	レギュラー10142円
公選ハガキ郵送代	104,000 円	(1枚 52 円)	規定限度 2,000 枚送付

53 万 9,895 円

羽生市に負担していただきました。

※選挙カーのレンタル代も公営に含まれますが、今回の選挙では自分の車を使用したため、当然ながら選挙管理委員会に請求はしていません。選挙ポスターが些か高額な理由は、細部にこだわり作成したためです。



再起の戦い 羽生で

26日夜、元職の中島直樹氏(42)は、羽生市議選の結果を開票所の体育館で見守っていた。「得票1位がアナウンスされると、軽くこぶしを握った。パンザイも花束もない当選風景。市議2期目の途中で挑んだ昨年6月の市長選で現職に敗れ、今回は「再起」の戦いだった。

パブル崩壊後の水戸期に就職を迎えた「まさる」世代(ロストジェネレーション)の一人。政治に参画する若者が全国で相次いだ。自身も社会福祉協議会職員などを経て、34歳で市議に。市長選での苦杯を「思いつく限り運動員があつた」と振り返る。

落選後、自動車部品の製造ラインに立つ非正規の仕事を見つけた。手取りが市議時代の報酬を超える月もあったが、かつて抱いた夢をあきらめられなかった。

「首長になりたい」

市長選の落選は、足元を見つめる機会になった。

「10年、20年、さらに100年先を見通した街づくりのために、もっと強き身につきたい」と前を向く。

無投票で1人が当選した横瀬町議選。1月の町長選で敗れたばかりの関根修氏(60)は「(対抗した)町長」といふ緊張感を持って政策提言をしつづけた」と町議への復帰を決めた。

町議の報酬は手取りで18万円。冠婚葬祭で半分近く出て行く月もあり、「これでは若い世代が出てこれない」と懸念する。

次の任期では町議の処遇を改善し、若者にも門を開きたい、と意気込む。

(高橋町彰)

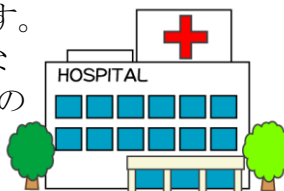
4月26日の一から出直し、羽生市議会議員一般選挙では市議一般選挙史上、最高得票を賜り当選させていただくことが出来ました。ご支持、ご支援をいただいたみなさまに「ありがとうございました。」と直接お礼を申し上げたいのですが、非人道的な公職選挙法により、当選御礼の戸別訪問は禁止されております。法は順守すべきと心底から思っておりますため、ご挨拶に伺うことができません。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。「議員としての仕事」でご恩返しをさせていただきます。

中島が見る市政一押し情報

① 羽生総合病院移転候補地の農地 転用及び開発行為許可が下りる。

市と羽生総合病院は、新病院の移転地として下岩瀬地内で合意に至りました。6月5日には、関東農政局より該当地の「農地転用」及び「開発行為」の許可が下り、現在、用地所得のため、病院側と地権者との間で契約交渉が行われています。

用地取得交渉は、大変に繊細な問題です。これまでと同様に数々の噂が飛び交うことが予想されます。私からも可能な限り、報告をさせていただきますので、皆様におかれましては冷静な対応をしていただきますようお願いいたします。



② 羽生市ふるさと応援寄付が好調

全国の自治体で自主財源の確保と地場産業の活性化のために行われているふるさと応援寄付事業。羽生市でもその例にもれることなく、H20年から同事業を行っております。全国的な流行もあり、これが大変に好調。羽生市は件数、金額とも以下の通り右肩上がり。



H20年	11件	16万円
H24年	72件	213万5千円
H26年	1,658件	1,918万7千円

7種類あるお礼の品の中でも特に5キロずつ3種の食べ比べができる「羽生の農家さんがつくったお米15kg」が大人気です。

1年3か月ぶりの定例会！平成27年度6月定例会が閉会！

6月定例会中島なおき27回目の一般質問

中島なおき 発言録

検索

10月にみなさんの手元に届けられるマイナンバー。羽生市の現在の状況、今後のスケジュール、また内閣府が推進する主管課設置に対する考え、制度の独自活用などについて質しました。

以下の掲載は紙面の都合上、質問、答弁とも大幅に割愛しています。タイムラグは生じますが、中島の議会での発言は「羽生市議会議員 中島直樹(無所属)の議会発言録」、市議会 HP からもご確認いただけます。昨年12月より「議会中継」も始まりました！



① マイナンバー制度の導入に向けて



Q. 平成25年5月、マイナンバー法が成立し、今年10月に全国民に届けられるマイナンバー。「公平、公正な社会の実現」「行政事務の効率化」「国民の利便性の向上」の3つの大きな効果が期待されている。制度導入に向けて次の点について伺う。①現在の進捗状況と今後のスケジュールはどのようになっているのか。②主管課設置についてどのように考えているのか。③マイナンバーの独自活用についてどのように考えているのか。④今後、どのような形で市民へ制度の周知を図っていくのか。⑤不正アクセスや人為的な情報漏えいなどセキュリティ対策をどのように構築していくとしているのか。

A. (企画財務部長) マイナンバーの利用に関し、必要な条例等の整備を9月定例会に上程する予定である。通知カード配布に向けても、窓口担当課とも準備を進めている。現在、企画課にて対応しているため、新たに主管課を設置することは考えていない。

マイナンバーの独自活用については、現在のところ考えていないが、市民サービスの向上に資するよう今後も事務を進めていきたい。

市民への周知に関してはホームページを通じてお知らせしている。また8月号の広報は「ゆう」では、10月から順次個人番号が郵送されることなどお知らせをする予定であり、適切な時期に継続して周知を行っていききたい。

セキュリティ対策については、大変に重大な課題である」と認識している。人為的漏えいが起こることがないよう、全職員対象の研修会を通じて個人情報情報の重要性について職員に徹底して周知するとともに、新たな技術の導入や知識の吸収システム面、人的な面に万全を期したい。



どうなってるの？羽生市の地震震度計？？？

4月、5月は震度3以上の地震が複数回ありました。羽生市は近隣の行田市、加須市と比較すると震度が弱く発表されるのが実に多くあります。そこで疑問が生じます。羽生市の震度計に不具合があるのではないのかと…。

羽生市の震度計は市役所敷地内正面玄関東側の植え込みの中に設置されています。実はこの震度計、小数点以下まで計測をしています。5月30日の小笠原諸島近海を震源とした地震を例にとると、行田は36、旧加須 旧大利根 40、旧北川辺 38、旧騎西 37、羽生 32。小数点以下を知ると腑に落ちる方も多いのではないのでしょうか？

何を申しあげたいのかというと、ズバリ！羽生市の地震震度計が狂っているわけではないという事。

強い地震がある度、氣象庁が会見を行い、メディアを通して学識者が見解を述べます。しかしながら、実は地震については説明されていないことが多いというのが現実です。井戸を掘ってみると行田、加須は軟水ですが、羽生は硬水です。隣接していても地盤そのものが異なっているのかもしれない。

大切なのは震度の強弱ではなく、地震にどう備えるか？どう対処するかです。そこをどうかお忘れなく！



上田清司埼玉県知事の付き人として同行！

多くの仲間たちが4月の埼玉県議会議員選挙に県議会改革を旗印とした政治団体～プロジェクトせんたく～の推薦を受け立候補しました。不肖、私も及ばずながら仲間たちの応援に奔走しました。県議選挙後半の4月8日には、ご縁があり上田清司埼玉県知事の一泊付き人として共に行動。上田知事から政治哲学、選挙哲学、県政や県議会の中身などなどご教示を賜りました。23日に告示される埼玉県知事選挙。私は上田清司氏を全面的に支持、応援します。



各所で遊説を行いました。移動中は刺激的で興味深いお話を多数聞かせていただきました。



各陣営の応援を終えJR某駅まで知事をお送りさせていただいた際の一コマです。

【中島なおき(直樹)の生きざま】

- 昭和47年11月生まれ(42歳) 身長184センチ 体重75キロくらい A型 さそり座
- 埼玉栄高等学校普通科 日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒業
- 神奈川県内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会職員となる
- 平成19年(34歳)正真正銘「地盤 看板 カバンなし」から羽生市議会議員一般選挙に単身挑み初当選
- 平成23年(38歳)羽生市議会議員一般選挙に2度目の立候補 再選を果たす。
- 平成26年(41歳)話題作り優先の市政運営に異を唱え、羽生市長選挙に立候補するも惜敗。
- 選挙後、家族の生活を守るため民間企業に就職。企業の雇用環境の荒廃を目の当たりにする。
- 平成27年(42歳)再び市議会議員選挙に立候補 市議選挙史上最高得票を賜り再選を果たす。
- 所属：第2期若手政治家養成塾副代表 NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事 青年地方議員の会会員 日本税制改革協議会会員 ■趣味：家庭菜園 読書 写真
- 特技：ギター弾き語り バスケットボール ハンドボール ■家族：保育士の妻 長女 次女



中 島 な お き 事 務 所
議会&活動レポート No.52

〒348-0071 羽生市南羽生 4-17-2
☎070-6488-4588
✉japanist0422@live.jp



※ このレポートは、他人に委ねる事無く、毎回、中島本人が直接皆様にお届けしています。